

1 健やかに暮らせる福祉のまち

・安心できる保健・医療・福祉の体制づくりと、子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりに努めます。

[保健、医療の充実／地域福祉の推進／子育て支援の推進／高齢者施策の推進／障害者施策の推進／社会保障の充実]

2 活力に満ちた産業のまち

・地域資源を活用し、地域に根ざした産業の育成と各産業間や地域教育活動との連携を図り、地域経済の活性化と時代にあった産業振興に努めます。

[農林業の推進／水産業の推進／商工業の推進／観光の推進／雇用、勤労者対策の推進]

3 自然と共生する安全なまち

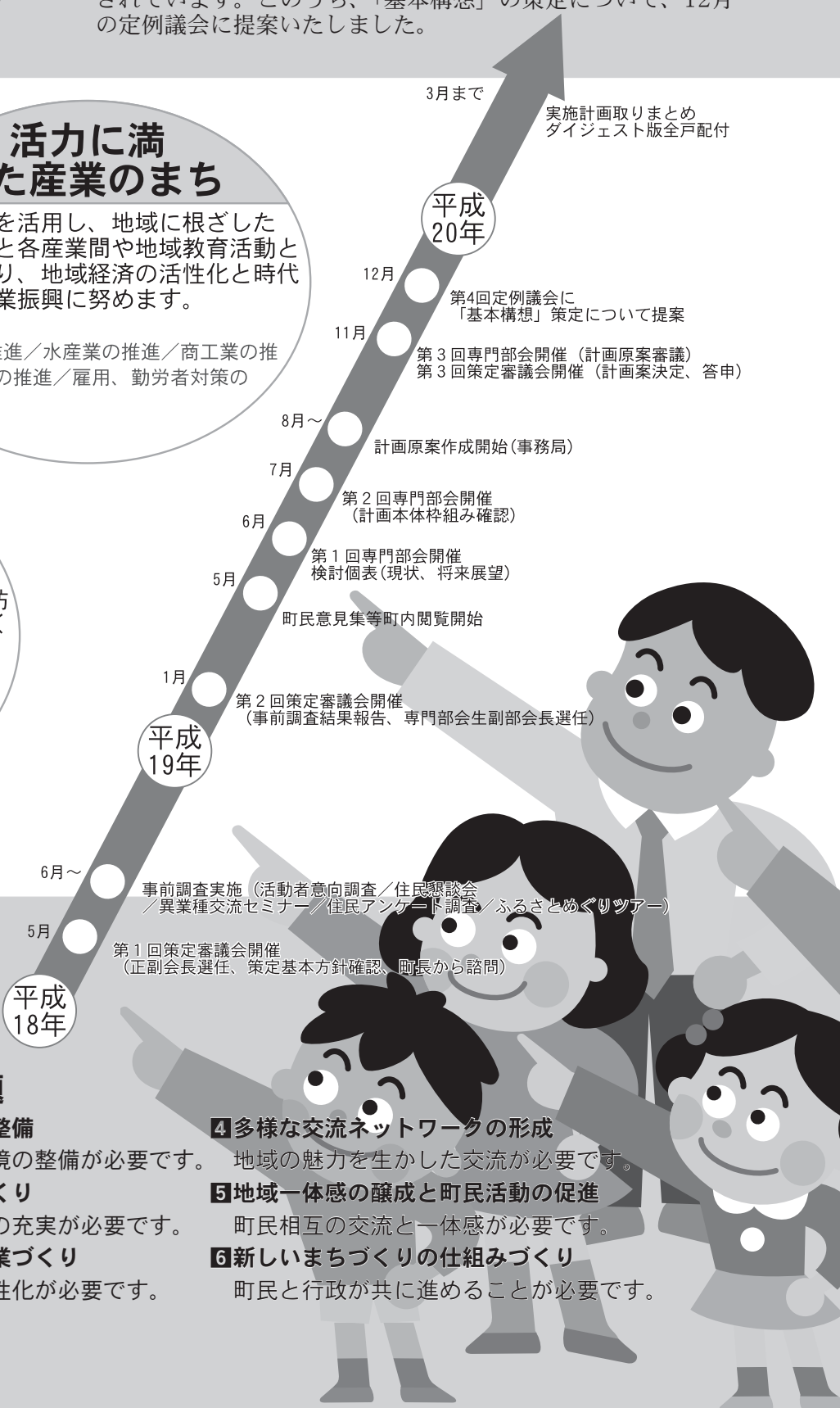
・町民一人ひとりが安全で安心して暮らせるまちづくりのため、環境保全や防犯・交通安全対策、災害に強いまちづくりに努めます。

[環境、景観の保全と創造／公園、緑地、水辺の整備／上下水道の整備／環境衛生対策の推進／消防、防災体制の充実／交通安全、防犯、消費者対策の充実／地域自然エネルギーの活用]

■総合計画とは？

行政運営の基本となる法律「地方自治法」の第2条第4項に「市町村は、その事務を処理するに当たっては、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない。」とあります。

総合計画は、この法律に基づき策定されるものです。計画の構成は、町の現状や課題をまとめた「総論」、町づくりの基本理念や将来像を示す「基本構想」、各施策の取り組み方を示す「基本計画」、具体的実施する事業を示す「実施計画」で構成されています。このうち、「基本構想」の策定について、12月の定例議会に提案いたしました。



■主なまちづくりの課題

1 快適・安全・安心な定住環境の整備

道路整備や生活環境など定住環境の整備が必要です。

2 健康で安心して暮らせるまちづくり

保健、医療、福祉、子育て環境の充実が必要です。

3 地域資源の活用と融合による産業づくり

新たな発想による地域産業の活性化が必要です。

4 多様な交流ネットワークの形成

地域の魅力を生かした交流が必要です。

5 地域一体感の醸成と町民活動の促進

町民相互の交流と一体感が必要です。

6 新しいまちづくりの仕組みづくり

町民と行政が共に進める必要があります。



■総合計画策定審議会委員

住所	氏名	備考
北檜山区	江上 恭司	福祉文教
	三上 博則	産業経済
	佐藤 佑二	生活環境
	石川 文枝	生活環境
	佐久間 治男	生活環境
	佐々木 秀雄	福祉文教
	千葉 憲之	福祉文教
	加藤 始	産業経済
瀬棚区	正木 孝義	産業経済
	内田 尊之	産業経済
	熊野 主税	生活環境
	工藤 芳江	福祉文教
	三宮 武	生活環境
	武山 正悦	生活環境
	関田 禮子	福祉文教
	桂田 富次	福祉文教
	弦巻 淳	福祉文教
	二本柳 均	産業経済
大成区	斉藤 誠	産業経済
	稲船 国晃	産業経済
	奥村 喜美男	産業経済
	福田 東洋司	生活環境
	稲船 弘	生活環境
	濱口 幸登	生活環境
	田中 基己	福祉文教
	羽二生みつ子	福祉文教
	亀井 久子	福祉文教
	佐藤 昌	産業経済
檜山支庁	光錢 浩	産業経済
	菅原 克博	生活環境

(敬称略・答申時)

6 みんなで つくるまち

・町民ニーズの多様化に対応できる効率的かつ効果的な行財政運営と地域間交流を推進し、町民と行政による協働のまちづくりに努めます。

[新時代のコミュニティ形成/人権尊重のまちづくりの推進/男女共同参画社会の形成/協働のまちづくりの推進/地域間交流の推進/自立した自治体経営の確立]

5 豊かな人間性と文化を育むまち

・地域の特色を生かした教育を推進し、学校・家庭・地域が一体となって次代を担う創造力と豊かな心を持つ人材の育成と、生涯学習、文化、スポーツにふれあうまちづくりに努めます。

[生涯学習の推進/学校教育の充実/青少年の健全育成/芸術、文化の振興/スポーツの振興/国際交流の充実]



「せたな町総合計画案」全文については、せたな町公式ホームページでご覧頂けます。

<http://www.town.setana.lg.jp/>

6 つ

基本

4 多様な交流を生むにぎわいのある快適なまち

・地域の特色を生かした土地利用や快適な住環境、交通基盤の充実、水産基盤の整備、情報化社会に対応したまちづくりに努めます。

[調和のとれた土地利用の推進/市街地の整備/住宅対策の推進/道路網の整備/公共交通機関の充実/港湾、漁港の整備/情報ネットワークの充実]



■みんなの笑顔と力で創ろう、未来の「せたな」。

新町「せたな町」の今後10年間のまちづくりを進めるための指針となります。『せたな町総合計画案』がまとまりました。新しい町「せたな町」のまちづくりは、まさにこれからです。せたな町は今、大変厳しい状況の中にありますが、一歩ずつの積み重ねが大切です。その積み重ねが、せたな町としての新しい歴史を築いていきます。そのためには、今をしっかり見つめながら、頑丈な土台を作らなければなりません。その土台の上に、安心して暮らせる家を建てるのが大事です。みんなの笑顔と力で、未来のせたな町を創りましょう。